

地質ニュース

第566号 2001年10月

口 絵

チリの斑岩型鉱床	渡辺 寧	1
地質標本館夏のイベント		4

チリの新生代テクトニクスと斑岩銅鉱化作用


チリはなぜ世界最大の銅産出国なのか?	渡辺 寧	6
岩石と土壌の体積含水率モニタリングを目的としたTDR法による比誘電率測定の実用	林 為人・高橋 学・安原 正也・榊 利博	22
コンクリート製品の話	須藤 定久・有田 正史	32
野外調査から隕石研究まで ブライアン・メースン自伝	ブライアン・メースン, サイモン・ネーサン 著・河内 洋佑 訳	42
ユニークな地質系博物館 (23)		
モンゴル国自然史博物館	高橋 裕平	48
現代短歌の中の地球科学 ~変成岩編~	森尻 理恵	50
石の俗称 東京下町探石散歩	遠藤 祐二・加藤 碩一	51

地質標本館だより No.60		57
お知らせ 在庫切れ地質図の注文プリントを開始	吉田 朋弘	65
編集後記		66

表 紙

インディオ・ムエルト山塊とエル・コブレ球場：チリ北部、エル・サルパドル地域のインディオ・ムエルト山塊。写真後方の山塊下部にエル・サルパドル斑岩銅鉱床が位置する。山塊中心部は始新世の花崗閃緑岩斑岩と暁新世の流紋岩溶岩からなる。手前のサッカー場はエル・サルパドル鉱山が所有するサッカーチーム「コブレサル」の本拠地、エスタディオ・エル・コブレ球場。アタカマ砂漠の中で唯一緑の広がる場所である。コブレサルはチリプロリーグ、プリメーラBで現在2位につけている。1987年にはチリカップで優勝したこともある。

(写真と文：渡辺 寧)

 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

Geological Survey of Japan / AIST

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 0298-61-3754

Fax. 0298-61-3569

<http://www.aist.go.jp/GSJ/>